2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020年 2月 13日作成)

小委員会名	室内空気質小委員会		主 査 名 : 野崎淳夫 就任年月: 2017 年 4月			
所属本委員会 (所属運営委員会)	1 -	□ 上学本委員会 境運営委員会)	委員長名 : 持田 灯 主 査 名 : 大岡 龍三			
設 置 期 間	2019年4月 ~ 2023年3月					
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・室内空気中の化学物質のほか、微生物、臭気、アレルゲンなど室内空気汚染物質全般について、新しい情報を収集する。 ・CO ₂ 濃度を始めとする空気質設計法及び測定法の基準を提案する。 ・居住者のための空気質設計指針を提案する。					
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無:無 野崎淳夫(東北文化学園大学),鍵直樹(東京工業大学),東賢一(近畿大学),一條佑介 (東北文化学園大学),金勲(国立保健医療科学院),斉藤智(竹中工務店),高塚威(新日本空調),竹村明久(摂南大学),長谷川麻子(熊本大学),光田恵(大同大学),村上栄造 (朝日工業社),柳宇(工学院大学),山口一(大同大学),湯懐鵬(新菱冷熱工業),四本 瑞世(大林組)					
設置 WG (WG 名:目的)	室内燃焼排ガス汚染検討 WG: 規格作成に向け、検討ペットとの共生環境検討 WG: 適用範囲について議論 臭気評価法検討 WG: 活動方針について議論					
2019 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無:無 委員会 HP アドレス:無				

項目	自己評価					
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)					
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし					
講習会	なし					
催し物 (シンポジウム・セミナー 等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし					
大会研究集会	なし					
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし					
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 今年度大会の OS の企画・運営を行った 2. 来年度の WG 活動について議論を行った。 3. 室内環境指針値に関する意見交換を行った。					
委員会活動の問題点 ・課題						

2019 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	В	С	D	
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	本小委員会におり、 を関係を を現を を現を をではいい。 を定めた。 を定めた。 をではいい。 をではいい。 をを をではいい。 をを をのではいい。 をのではいい。 をのではいい。 をのではいい。 をのではいい。 をのではいい。 をのではいい。 をのではいい。 をのではいい。 をのではいい。 をのではいい。 をのではない。 をではない。 でのでいるでいるでい。 でのでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるで	ア行価 極すすする度な度にいた法 OS 設議項と現でた分が。検 ののというではないでは、ののというでは、のというでは、ののというでは、のの判に価 Wのの判に価 Wのの判に価 Wのの判に価 Wのの判に価 Wのの判に価 Wのの判に価 Wのの判に価 Wのの判に価 Wのの	など室内を WGを を を を で で で で で で で で で で で れ で で れ で れ で れ で れ で れ で れ で れ で で で で で で で れ に の に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に 。 。 。 。	汚染物質全般にで が現場で が現場で が現場で があることに がいた がいた がいた がいた がいた がいた がいた がいた がいた がいた	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、 小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。

A評価:小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度

B評価:小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度

C評価:小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度

D評価:小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度

● 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価(シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など)に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。